

第2回岩見沢市子ども・子育て会議議事録

日時 平成30年3月1日(木) 18:00～19:10

場所 であえーる岩見沢4階 会議室1

1 開 会

2 議 事

報告事項

発達支援ファイルに関する専門部会の報告について

協議事項

- (1) 子ども・子育てプランの変更について
- (2) 平成29年度の主な事業の進捗状況について
- (3) その他

平成30年度第1回会議の日程調整について

3 閉 会

事務局 1 開会 (18:00)

事務局 2 議事

報告事項 発達支援ファイルに関する専門部会の報告について 説明

委員F 質問やご意見ありましたらお願いします。

ワナドゥ手帳は皆さんご存知ですか。梅田委員が教えてくれましたが、お酒を飲むときに、写真を撮っただけで終わらないように整理する手帳があります。

事務局 ワナドゥ手帳で検索するとたくさん出てきます。ペットの記録などもあります。

委員F 子育てのものもありますね。評価はあまり高くありませんが。

ワナドゥ手帳より良いものになるように。

何も無いようですので次に進みたいと思います。

協議事項(1) 子ども・子育てプランの変更について、事務局から説明してください。

事務局 (1) 子ども・子育てプランの変更について 説明

委員F ただ今の説明で何か質問はありますか。

- 委員D 地域型保育のことですが、聖十字広場ぼけっとは3歳未満の預かりなのですか。5歳児まで預かっていると聞いたことがあります。
- 事務局 今は地域型へ移行したので3歳未満の預かりです。
別法人で、地域型保育事業以外の事業として5歳までのお子さんを預かっていると聞いています。
- 委員F 他にないようなので次に移りたいと思います。
(2)平成29年度の主な事業の進捗状況について、事務局から説明してください。
- 事務局 (2)平成29年度の主な事業の進捗状況について 説明
- 委員F ただ今の説明で何か質問はありますか。
保育サービス講習会は結構な数が揃いましたね。
- 事務局 今回初めて夕方18時からの開催を行い、申し込みがなかったらどうしようかとドキドキしていましたが、結局は29名の受講、26名の修了という形になりました。時期も転職などを考える時期だったのかなと思いましたが、夜の開催も今後続けていくべきだなと感じました。
- 委員F よろしいですか。
何もなかったら次に進みたいと思います。
(3)その他 ですが、ここで皆さんから情報共有したいことはありますか。
事務局の方からお願いします。
- 事務局 日本計画行政学会計画賞最優秀賞受賞報告
- 事務局 子育てガイドブックの発行について
- 委員F よろしいですか。
全体を通してご質問ありますが。
- 委員J 安井先生と雑談をしていて、不登校の、発達障がいの子の遊ぶ場所がないです。
うまく体を動かせる場所として、あそびの広場の第3クールを利用できないだろうかと話をしていました。
- 事務局 現実に運用できそうということになれば、団体扱いとして、小学生以上でも指導

者も利用料がかからない形にしたいと思います。具体的になりそうであれば全面的にご協力したいと思いますのでよろしくお願いします。

委員 L 全国的に保育士不足です。岩見沢から専門学校に通っている子もいますが、ほとんど札幌へ就職です。市内の保育所は人が少なくて困っています。大きな問題になりますね。駒沢の保育専門学科がありましたが、なくなりました。全然来ないと。やはり札幌なのですね。都会。これは大きな問題じゃないかと思います。子どもは保育所へ入りたいですが、指導者がいません。

委員 J 同じ話が看護師にもあって、受験者数が合格者数を割る学校が出てきています。みんな札幌を受けます。そして卒業後にいなくなる。医者も地域枠があり、地域枠で入学すると8年くらい地域に奉仕します。同じように、保育士、幼稚園、看護師を含めて岩見沢市地域枠みたいなものを作らないと都会に全部持って行かれてしまうのではないかと思います。医師会で問題になりつつあります。

委員 F 東京の人間からすると、札幌から特急で30分で来られるところで札幌にとられてしまうのはなんだかなあと思うのですけれども。

委員 J 新聞に出ていましたが、ここ1年間の差引人口流失が447人でした。死亡数を合わせると年間1,000人減っているのは間違いないので、なんとか必要人材を留めないで。春から滝川は産婦人科・小児科がゼロになりますから、岩見沢市も5年後産婦人科・小児科がゼロになることも頭に入れなくては、今から手を打たなければなりません。

事務局 子ども・子育て会議として、こういった問題に市として新たに取り組むべきであるということを、施策協議の場でサマーレビューというものがありますので、そこで提案できるようなかたちにまとめていきたいと思います。
第1回目の会議には間に合わないことも考えられますので、その際には、委員の皆さんに個別に相談することもあろうかと思いますがそのときはご協力お願いいたします。

委員 F 人材確保は深刻な問題です。

事務局 今もギリギリ、なんとかやっている状態だと思います。もう少しくと、先ほどおっしゃった滝川のようになってしまいかもかもしれません。

委員 J 小児科で言えば、夕張栗山美唄三笠、みんな常勤の医者は80歳以上しかいません。うちもいつまでもつかわりません。

事務局 小児科の状況について私たちは詳しくないので、その辺りの情報も市立病院と協力して整理しながら、何らかの手を打たなくてはいけないのではないかと。市民の安全に関わる施策のテーブルに乗せるようなことを、子ども・子育て会議の意見を契機に政策提言ができればいいと思っていますのでご協力のほどお願いいたします。

委員F セーフティネットのところが崩れるとあっという間に町は死んでしまうので。

事務局 保育所と周産期医療小児科医療というところが崩れてくるとますます若い世代が出て行ってしまってますます人口が減っていくということになってしまいます。

委員J お産は壊滅的です。500件のうち250件くらいを1人が365日24時間センターにいてみえています。(産科医は)誰も来ないし、3大学はいらなないと言って空知は全部砂川へ集約させています。国が自治体病院をつぶそうとしているので、そんな状況でひどいです。

事務局 深刻な状況だということをご場で確認して、何らかの政策提言をするためのご意見をいただいたということで整理させていただきます。

委員F 他にはありませんか。
議事はここまでにしたいと思います。

事務局 平成30年度第1回会議の日程調整について
3 閉会 (19:10)